

## 糖尿病代謝内科／免疫内分泌内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「岐阜県における新型コロナウイルス感染症非常事態宣言発令が糖尿病患者に与えた効果に関する検討」への協力をお願い

糖尿病代謝内科／免疫内分泌内科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報およびアンケート調査を用いた研究を行います。お手数をおかけしますが、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2020年1月1日～2020年8月31日に当科において、糖尿病の治療を受けられた方で以下に合致する方が対象です。

- ・ 20歳以上80歳以下の方
- ・ 性別は問いません

除外基準として、以下の方は対象に含まれません。

- ・ 感染症、肝硬変(Child C 以上)、透析治療をうけるなどHbA1cに影響があると考えられる方
- ・ 妊娠の判明した方
- ・ 認知症の診断をうけている方
- ・ その他、医師の判断により対象として不相当と判断された方

研究期間：2020年7月31日～2020年12月31日

研究目的・方法：今回、新型コロナウイルス感染症による非常事態宣言発令が行われたことで、患者さんの生活様式や心理状態は大きく変化し、耐糖能に影響していることが考えられました。糖尿病の患者さんは、新型コロナウイルス感染症が悪化しやすいという研究結果が報告されていますが、血糖コントロールが良好な方では、重症化するリスクが少ないとの報告があります。そのため、血糖コントロールを良くすることが今後に向けての対策につながると考え、血液検査の結果およびアンケート調査の結果により、こういった緊急時における糖尿病患者さんの状態変化のメカニズムの解明をして治療につなげていくことを考えました。

研究に用いる試料・情報の種類：年齢、性別、身長、体重、糖尿病罹病期間（糖尿病になってからの年数）、糖尿病治療薬の情報、血液検査結果（Hb, HbA1c, eGFR,）。外来受診時に、新型コロナウイルス感染症非常事態宣言発令期間中におけるアンケート調査を行わせていただきます。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに行っていただく血液検査はありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果

の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

#### 連絡先

岐阜大学医学部附属病院 糖尿病代謝内科

電話番号 058-230-6377

氏名：加藤 丈博

#### 研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科医科構造学講座内分泌代謝病態学分野

氏名：矢部 大介